

友愛

Y U A I
113
平成29年8月1日発行

特集

「太陽の子」が
誕生しました

特集

「安心の在宅復帰」に
取り組んでいます

- ふれあい通信
- スタッフエッセイ



社会福祉法人 北海道友愛福祉会

愛保育園にシンボルができました

「太陽の子」が誕生しました

南西側の2階部分の外壁はコンクリートのままでした。6月26日、そこにステンドグラスと金属で構成されたアート作品「太陽の子」がお目見えしました。保育園らしい明るさ、あたたかさ、楽しさを醸し出しています。

地元のアーティストによる共演

この建物は老朽化により平成19年に建て替えたものですが、当初から外壁に保育園らしい装飾を施してはどうかという議論がありました。昨年末に再度話題に上り、以前から親交のあった地元のグラフィックデザイナーの原さんと相談したところ、石戸谷さんと西山さんを紹介してもらいました。3人はともに江別市在住で、これまでも一緒に仕事をしてきたとか。そのため、企画から完成までスムーズに進みました。



愛保育園 園長 原 利明さん

地域のシンボルとなり、卒園後も子どもたちの心の支えになってくれるのではないのでしょうか。

ガラスの色が壁に映る効果を考えました

グラフィックデザイナーの原さんが「保育園らしく」を心がけ、「太陽の子」というモチーフで原案をつくりました。それをもとに、私が詳細なデザインを提案。4、5回の修正を経て、決定しました。一番考えたのは、どうすればステンドグラスの色がもっとも美しく壁面に映るのかということでした。

ステンドグラスには、光の通り方、反射の仕方などの違いにより、多くの種類があります。どんな種類のガラスをどの部分に、どのように使うか。制作にあたり、一日に何度も壁の前に立ち、太陽光線の変化を観察しました。特に夕日に美しく映える作品になっているので、仕事帰りの方々にも楽しんでいただけたと思います。



ステンドグラス作家 石戸谷 準さん

光と影のバランス、安全性に配慮しました

ステンドグラスの美しさには、光と影のバランスが大切です。ただ、影をつくる金属部分の大きさは重量や強度との兼ね合いがあり、なかなか難しいものがありました。太陽の金属部分には穴



金属作家 西山 省一さん

が開いています。この穴はステンドグラスの壁面への反映を見せるためと、風を逃がすためです。材質には、腐しよの少ないステンレスと耐食アルミを選びました。突風や台風にも落下することがないよう、壁にアンカーボルトを20本以上打ち込み、作品を固定しています。作品に打ったネジの頭も、人やウサギのデザインのの一部としていかしています。じっくりご覧いただき、細かい工夫にも気づいていただければ幸いです。



職員の声 STAFF VOICE



子どもたちのお散歩が いっそう楽しみになりました

作品ができあがった日、子どもたちとお散歩に出かけると、「かわいい〜」、「トリいるよ〜」と、口々にうれしそうに声を上げました。保育士も一緒に楽しんでます。

円山動物園に社会見学に行ってきました!

子どもたちの気持ちが伝わったのか、晴れて良いお天気となった社会見学。行ききのバスの中では歌ったり手遊びをしたり、動物クイズをして盛り上がっていましたよ! 動物を見て「かわいい〜♡」「赤ちゃん抱っこしてるよ!」「絵本で見たことある!」と目をキラキラさせる子どもたち。ふれあい広場ではかわいいウサギに癒やされたり、突然柵から飛び出したニワトリに驚く子どもも…。お昼ご飯ではカラスにおにぎりを食べられるというハプニングもありましたが、かわいくておいしいお弁当に大満足の子もたちでした♪さまざまな動物を見て発見あり、笑いあいの楽しい社会見学でした♪



すてきなディスプレイができあがりました



季節ごとに施設内のディスプレイを作っています。春は桜、6月はアジサイということで、ご利用者と一緒にアジサイの花を折り紙で作って台紙に貼り付け、壁一面に飾りました。これからも季節ごとのすてきな飾りつけができると思います。皆さん、このすてきなディスプレイを見に、デイサービス友愛江別に顔を出してください。

ふれあい通信

北海道友愛福祉会とご利用者の皆さんの日々のふれあいを、あふれる笑顔の写真と一緒にご紹介します。

手作りおやつに胸が高鳴ります♪

いつも午後におやつと飲み物をご用意していますが、定期的に「手作りおやつの日」も設けています。手作りおやつの特徴は、嚥下や咀嚼に不安があり、ペースト状や刻んでまとめた食形態で食べている方でも、みんなと同じものを食べていると感じられるよう、見た目や味が同じように作られているところです。おやつの時間を楽しんでもらえるよう、栄養係により事前に試作と改良が重ねられています。調理員の知識・技術・経験がぎゅっと詰まったおやつで、ご利用者の表情や心が笑顔になります。



【おまんじゅう】
ごせん誤嚥につながらないよう、口の中でばらけることなく飲み込むことができます。

みんなで大合唱した「歌声喫茶」



毎月行われる「講話会」。今回は放課後児童クラブふわたの高橋先生にお越しいただき、「歌声喫茶」を開催しました。声楽を学んでいたという高橋先生。まさに「天使の歌声」でした!入居者の皆さんも高橋先生の歌声に負けず劣らずの大合唱!会場内は大きな笑顔と拍手であふれて、すてきな時間を過ごすことができました!

“語りあいましょう 私の地域”



※写真は、H29.6月「東野幌町健康クラブ」で行った様子です。

江別市では平成29年度から総合事業を開始しました。それに伴い、「介護保険のこれから〜助け合いの大切さ〜」をテーマに、自治会や高齢者クラブに出向き、住んでいる地域を振り返り、住民の皆さんができる助け合い活動について話し合いの機会を持っています。地域の良いところとして「隣近所仲が良い!」「会合やサークルが多くある!」、助け合い活動として「声かけ」「話し相手」「見守り」など、活発な意見が出ました。私の地域でもしてみたい!という方は、ぜひご連絡ください。

通所「でこぼこ農園」拡大!!!

4年前より、通所リハビリテーションで行っている畑作り!屋外リハビリとして、施設の一角を利用し、今年も皆さん励んでいます。今年は、ご利用者の提案で畑を拡大!熟年の技ありで、あっという間に畑が2倍に拡大。花は種からの苗作り、野菜も一つ一つ丁寧に植えました。農作業ベテランのご利用者の技に職員も修業中の日々です。春から秋にかけてたくさんの陽を浴びて、畑もご利用者も元気いっぱい!秋の収穫、おいしい野菜をご利用者、職員も心待ちにしていま〜す!



各部署が連携して、自立と退所をサポートしています

「安心の在宅復帰」に取り組んでいます



ご利用者・ご家族の希望を
しっかりと受けとめます

ケアマネジャーとして、在宅介護のプランを作成しています。一番大事にしていることは、ご利用者・ご家族、両者の希望を丁寧に向うこと。両者の意見が合わない時には、結論を急がず、じっくりと納得のいくプランを立てています。特に施設退所後のプランでは、リハビリ後の状態を自宅で維持していくことができるよう、通所リハビリをお勧めしています。
菊地さんの場合は、右手の



管理者・介護支援専門員
村瀬 香奈さん

骨折後、自宅での生活が困難になったため入所されましたが、リハビリを一生懸命がんばり、以前の身体状態へ回復されました。ご自宅に戻られた後は、通所やショートステイを積極的に利用されています。

スタッフの方があたたかく見守ってくれます

私は平成28年11月に入所し、3カ月のリハビリ後「自宅で過ごしたい」と村瀬さんに相談して退所しました。今は週に3回、デイケアに通うほか、ショートステイもよく利用しています。プランの相談をはじめ、職員の皆さんがあたたかく見守ってくれるので、安心して通っています。

通所の楽しみの一つが、おいしい昼食です。「今日のメニューは何かなあ」と、いつも楽しみにしています。また、一緒にリハビリをする友だちもでき、励みになっていきます。電動ベッドなども借りており、家族のいる自宅で生活できることが何よりうれしいです。



ご利用者
菊地 道子さん

もっとも大切なのは、
相手を尊重する接遇

思いを表現できない入所者の方が多くいますが、感情があります。ですから、敬意をもったコミュニケーションをもっとも大切にしています。



業務課長
山本 邦子さん

退所後を見据えて最適な
入所のプランを作成

入所の際には、自宅復帰につながるリハビリや生活訓練のプランを立てています。段階での見守りなど、介助にも細心の注意を払っています。



支援相談員
竹村 祐佳さん

信頼関係を築いて、
安心のデイケアを実現

お迎えの時は、特に表情や足の運びに注意し介助をしています。そうした積み重ねで信頼関係を築き、安心してデイケアを受けてもらいたいですね。



通所主任
菅原 学さん

身体に加え、活動と
参加のリハビリを重視

身体だけでなく、活動と参加のリハビリも大切にしています。趣味などの生きがいを継続できる人生になればと思います。



療法主任
稲場 大幸さん

恵明園

この一歩から 道ができる



6月9日は、あいにくの曇り空でしたが、恵明園のご利用者と職員の気持ちは晴れやかでした。なぜなら、長年希望してきた視覚障がいのある方が外出する際、ガイドヘルパーが同行し、移動に必要な情報の提供や支援を行うサービス（同行援護支援）が、老人ホームに居中のご利用者にも認められた最初の日となったからです。

この日、サービスを利用して外出されたのは小浅和之さん。小浅さんは、札幌で療養している奥さまに面会に行くというので、「自分の行きたい時に、気兼ねなく外出できることは本当にありがたい」と話してくれました。

このほかにも、8名の方が同行援護支援の契約を結んでいます。「札幌で行われる勉強会に参加する」とか「札幌駅前の家電量販店にオーディオ機器を見に行く」など、いろいろな目的がある



ようです。同行援護支援を利用することで、行事や通院などの施設主導ではなく、自分の都合に合わせて外出がしやすくなります。これにより、間違いなく恵明園での生活の自由度も増していきます。今日の一步は小さくても、それがやがて大きく歩きやすい道になるのだと思います。これからも、視覚障がい者にとって快適な恵明園になるよう、ご利用者と職員が力を合わせていきます。

新役員 決定!

理事長に中田清を 選出 常務理事は笠羽範夫

社会福祉法改正に伴い、新たな役員が決定しました。なお、中田清が理事長に、笠羽範夫が常務理事に選任されました。

高齢者福祉、児童福祉、医療、保健サービスの拠点として、地域の期待に応えることはもとより、人権を尊重し、充実した生活支援と高品質なサービスの提供を目指し、より一層の機能充実を図っていくうえで今後の法人の役割に期待が高まります。

理事長	中田 清	評議員	中山 勝弘
常務理事	笠羽 範夫	評議員	湯浅 國勝
業務執行理事	久田 康由喜	評議員	後藤 一昭
業務執行理事	市川 茂春	評議員	知野 辰男
理事	村中 英雄	評議員	福田 三行
理事	原 利明	評議員	石橋 文子
理事	佐々木 修司	評議員	佐々木 緑
監事	吉田 満	評議員	鳥居 一頼
監事	坂倉 三夫		

スタッフ エッセイ

今年の4月から愛保育園に勤務しています！私は中学生の時にソフトボール部に入り、3年生最後の大会では管内ベスト8に入ることができました！部活を辞めてからリフレッシュとして友達とキャッチボールなどを行っています！時間があるときはソフトボールをして体を動かしたいと思っています！

愛保育園 佐藤 愛永



私は大学生生活の4年間、ラクロス部に所属していました。ラクロスは屋外のスポーツなので、この季節になると真っ黒に日焼けをしていたことを思い出します。今は日焼け止めが欠かせません。大学3年の時には北海道で優勝し全地区(全国)大会へ出場、遠征もたくさん行き、日焼け三昧でした。今思うと懐かしい青春時代です。社会人になってからもラクロスをやっていた時期はありましたが、現在はラクロスから離れ、外を走ったり泳ぎに行ったり、バレーボールをしたり、趣味の「身体を動かすこと」を続けています。ストレス・運動不足解消にはやっぱり運動が一番です。

友愛ナーシングホーム 竹村 祐佳



2児の母として毎日子育てに奮闘しています！人生の先輩であるご利用者の皆さんにも色々なアドバイスを受けながら、親子ともに成長している途中です…。そんな私たち家族のブームはマラソンです☆6時間リレーマラソンには毎年参加しています！過去には長男と一緒にテレビのインタビューを受けました！昨年は長女出産のため参加できませんでしたが、今年は親子マラソンにも参加したいと思っています！またテレビに映れるように頑張ります(笑)!!!

デイサービスセンター友愛野幌 笠井 聖子



昨夏、夕張シューパロダムを訪れたのをきっかけに、ダムの魅力にとりつかれました。ダムを歩き、構造や役割、建設技術を学び、ダムカードを受け取るのが休日の楽しみになっています。ダムカードを配布している所は35カ所。北海道には100以上のダムがありますが、私の訪問記録はまだ数カ所。道内のダム巡りで知識を身に付け、目指すは日本一の高さを誇る黒部ダム観光です。

静苑ホーム 金子 里美



私の趣味は料理作り。お酒を飲むことがとても大好きな私ですが、ある日お酒の肴がない…。どうしよう…。そうだ！自分で作ってしまえ！！と始めた「男の料理」。「男子厨房に入らず」は昔の話とばかりに、今では台所に立つ男性が増えており、私もすっかり料理作りの虜になりました。しかし、台所をちらかす、盛り付けが雑、分量がメチャクチャ…。まだまだ課題はたくさんありますがおしいければ問題なし!!さて、次の休みには何を作ろうかな♪

ケアハウスゆうあい 吉田 直樹



私が空手を始めたのは高校に入ってからです。球技、陸上ともあまり得意ではなかったので、有り余るエネルギーを発散すべくメジャーではない空手を選びました。現実には厳しいもので、相手の突きをよけきれず顔面にあざをつくること数知れず…。帰宅も夜9時頃となり、勉強せず赤点すれすれの学生生活でした。昔取った杵柄がまさか今になって役立つとは思いませんでした。デイサービスセンターの忘年会などの行事では、ご利用者に楽しんでいただいておりますが、心なしかご利用者の顔が青ざめているように思う今日この頃です。

デイサービスセンター友愛江別 田口 美菜子



社会福祉法人 北海道友愛福祉会 <http://www.yuaifukushi.jp>

介護老人福祉施設・特別養護老人ホーム
短期入所生活介護
静苑ホーム

〒069-0806 江別市新栄台46番地の10
TEL (011) 389-4165 FAX (011) 389-4166

友愛野幌

TEL (011) 391-3540 FAX (011) 389-4170
●通所介護 ●訪問介護
●居宅介護支援・在宅介護支援センター
●福祉移送サービス

児童福祉施設
愛保育園

〒069-0812 江別市幸町8番地の9
TEL (011) 384-0330 FAX (011) 382-6587

江別盲人養護老人ホーム・短期入所生活介護
ヘルパーステーション
恵明園

〒067-0027 江別市豊幌美咲町23番地の8
TEL (011) 383-3351 FAX (011) 383-3598

友愛江別

TEL (011) 383-3362 FAX (011) 383-3598
●通所介護
●居宅介護支援・在宅介護支援センター

認知症対応型共同生活介護
グループホームゆうあい

〒067-0027 江別市豊幌美咲町23番地の8
TEL (011) 383-3378 FAX (011) 383-3356

軒元老人ホーム
ケアハウスゆうあい

〒069-0806 江別市新栄台46番地の12
TEL (011) 382-1123 FAX (011) 382-1022

介護老人保健施設・短期入所高機能介護
通所リハビリテーション・居宅介護支援
友愛ナーシングホーム

〒069-0806 江別市新栄台46番地の12
TEL (011) 382-1110 FAX (011) 382-1022

江別市受託事業
野幌第一地域包括支援センター

〒069-0801 江別市中央町31番地の6
TEL (011) 381-2940 FAX (011) 381-2941
●介護予防支援